

第18回フィットネスクラブ・マネジメント技能検定における2級試験問題の誤り一覧

科目	出題（誤）	誤りの内容及び修正後	出題された受検者への対応																																																
2級学科	<p>労働災害に関する以下の記述で、(ア)～(エ)に当てはまる適切な組合せを選択肢から一つ選びなさい。</p> <p>労働災害を未然に防止する取組みの一つに（ア）活動が挙げられる。日常的に起こる小さな事故を報告・共有して改善することで、大きな事故が起こることを未然に防ぐことを狙いといた活動である。（イ）によれば、1つの重大事故の背景には、（ウ）件の軽微な事故があり、その背景には300件の小さな事故が存在しているという。</p> <p>(ア)ヒヤリ・ハット (イ)ハインリッヒの法則 (ウ)29 (ア)KYT (イ)ハインリッヒの法則 (ウ)39 (ア)ヒヤリ・ハット (イ)マーフィーの法則 (ウ)29 (ア)KYT (イ)マーフィーの法則 (ウ)39</p>	<p>（誤りの内容）</p> <p>問題文では、(ア)～(エ)に当てはまる適切な組合せを選択肢から一つ選びなさい。となっているが 組合わせは全て（ア）（イ）（ウ）で構成されている。</p> <p>（修正後）</p> <p>労働災害に関する以下の記述で、(ア)～(ウ)に当てはまる適切な組合せを選択肢から一つ選びなさい。</p>	問題不成立として、出題された受検者全員正答とする。																																																
2級学科	<p>Aフィットネスクラブの売上と費用が以下の表の場合、損益計算書に表示されるべき営業利益額を計算し、適切なものを選択肢から一つ選びなさい。</p> <table><tr><th colspan="2">(単位:百万円)</th></tr><tr><th>項目</th><th>金額</th></tr><tr><td>フィットネス会費</td><td>650</td></tr><tr><td>付帯売上</td><td>90</td></tr><tr><td>フィットネス売上</td><td>410</td></tr><tr><td>付帯売上原価</td><td>60</td></tr><tr><td>販売費及び一般管理費</td><td>80</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>30</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>20</td></tr><tr><td>特別利益</td><td>15</td></tr><tr><td>特別損失</td><td>30</td></tr><tr><td>法人税、住民税及び事業税</td><td>30</td></tr></table>	(単位:百万円)		項目	金額	フィットネス会費	650	付帯売上	90	フィットネス売上	410	付帯売上原価	60	販売費及び一般管理費	80	営業外収益	30	営業外費用	20	特別利益	15	特別損失	30	法人税、住民税及び事業税	30	<p>（誤りの内容）</p> <p>問題文では、売上と費用の以下の表の場合、損益計算書表に表示されるべき営業利益額を計算し、適切なものを選択肢から一つ選びなさい。となっているが、表記載の2つの項目の文字が一部欠落している。</p> <p>（修正後）</p> <p>「フィットネス会費」の項目は「フィットネス会費売上」。 「フィットネス売上」の項目は「フィットネス売上原価」。</p> <table><tr><th colspan="2">(単位:百万円)</th></tr><tr><th>項目</th><th>金額</th></tr><tr><td>フィットネス会費売上</td><td>650</td></tr><tr><td>付帯売上</td><td>90</td></tr><tr><td>フィットネス売上原価</td><td>410</td></tr><tr><td>付帯売上原価</td><td>60</td></tr><tr><td>販売費及び一般管理費</td><td>80</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>30</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>20</td></tr><tr><td>特別利益</td><td>15</td></tr><tr><td>特別損失</td><td>30</td></tr><tr><td>法人税、住民税及び事業税</td><td>30</td></tr></table>	(単位:百万円)		項目	金額	フィットネス会費売上	650	付帯売上	90	フィットネス売上原価	410	付帯売上原価	60	販売費及び一般管理費	80	営業外収益	30	営業外費用	20	特別利益	15	特別損失	30	法人税、住民税及び事業税	30	問題不成立として、出題された受検者全員正答とする。
(単位:百万円)																																																			
項目	金額																																																		
フィットネス会費	650																																																		
付帯売上	90																																																		
フィットネス売上	410																																																		
付帯売上原価	60																																																		
販売費及び一般管理費	80																																																		
営業外収益	30																																																		
営業外費用	20																																																		
特別利益	15																																																		
特別損失	30																																																		
法人税、住民税及び事業税	30																																																		
(単位:百万円)																																																			
項目	金額																																																		
フィットネス会費売上	650																																																		
付帯売上	90																																																		
フィットネス売上原価	410																																																		
付帯売上原価	60																																																		
販売費及び一般管理費	80																																																		
営業外収益	30																																																		
営業外費用	20																																																		
特別利益	15																																																		
特別損失	30																																																		
法人税、住民税及び事業税	30																																																		
2級実技	<p>会員管理における重要な指標の一つに「顧客継続率」がある。以下の条件に基づき、2021年度末時点で在籍している会員数を計算し、各回答欄に入力しなさい。数値は、整数とする。</p> <p>【条件】 新規獲得会員数 2019年度：1,000名 2020年度：600名 2021年度：800名
 顧客継続率（年度単位で段階的に適用） 入会～1年後：60%が継続 1年後～2年後：継続者のうち70%がさらに継続 2年後～3年後：さらにそのうち80%が継続 ※2021年度に入会した会員は、2021年度末時点では全員継続しているものとする。</p> <p>問2 2019年度～2021年度の新規獲得会員のうち、2021年度末時点で在籍している会員数の合計を計算し解答欄に入力しなさい。 問3 2019年度～2021年度の新規獲得会員のうち、2021年度末時点で在籍している会員数の合計を計算し解答欄に入力しなさい。</p>	<p>（誤りの内容）</p> <p>問題文では、問2の文章が、問3の文章と全く同じになっている。</p> <p>（修正後）</p> <p>問2 2020年度に入会した会員のうち、2021年度末時点で在籍している人数を計算し解答欄に入力しなさい</p> <p>問3問題文はそのまま。</p>	問2及び問3を問題不成立として、出題された受検者全員正答とする。																																																

2級実技	<p>フィットネスクラブAの商圈と会員に関する以下の記述で、(ア)、(イ)に当てはまる適切な数値を計算し、解答欄に入力しなさい。</p> <p>フィットネスクラブAの支店長は、自店の会員データを分析した。対象商圈人口は半径 4 km 圏内で 42 万人 であった。半径 1 km、2 km、3 km、4 km ごとの商圈人口およびこのフィットネスクラブの会員参加率は下表のとおりである。また、フィットネスクラブA の会員で 4 km 以上 の居住者が総会員数に占める構成比は 20 % である。</p> <p>会員数の計算は居住人口で行うこととする。</p> <p>フィットネスクラブA店商圈情報</p> <table><tr><th>商圈半径</th><th>0m-500m</th><th>500m-1km</th><th>1-2km</th><th>2-3km</th></tr><tr><th>商圈人口</th><td>2万人</td><td>8万人</td><td>12万人</td><td>20万人</td></tr><tr><th>会員参加率 (対商圈人口)</th><td>5.00%</td><td>0.50%</td><td>0.20%</td><td>0.10%</td></tr></table>	商圈半径	0m-500m	500m-1km	1-2km	2-3km	商圈人口	2万人	8万人	12万人	20万人	会員参加率 (対商圈人口)	5.00%	0.50%	0.20%	0.10%	<p>(誤りの内容)</p> <p>問題文にある (ア) 、 (イ) は、記述文章内に記載がない。合せて、「半径 1 km、2 km、3 km、4 kmごとの商圈人口～は下表のとおり」と記載されているが、フィットネスクラブA 点商圈情報表に示されている数字は、3 kmまでとなっている。</p> <p>(修正後)</p> <p>表の商圈半径区分は左から 0～1 km、1 km～2 km、2～3 km、3 km～4 kmの4区分</p> <p>フィットネスクラブA店商圈情報</p> <table><tr><th>商圈半径</th><th>0m以上～ 1km未満</th><th>1km以上～ 2km未満</th><th>2km以上～ 3km未満</th><th>3km以上～ 4km未満</th></tr><tr><th>商圈人口 (居住人口)</th><td>2万人</td><td>8万人</td><td>12万人</td><td>20万人</td></tr><tr><th>会員参加率 (対商圈人口)</th><td>5.00%</td><td>0.50%</td><td>0.20%</td><td>0.10%</td></tr></table>	商圈半径	0m以上～ 1km未満	1km以上～ 2km未満	2km以上～ 3km未満	3km以上～ 4km未満	商圈人口 (居住人口)	2万人	8万人	12万人	20万人	会員参加率 (対商圈人口)	5.00%	0.50%	0.20%	0.10%	<p>問題不成立として、出題された受検者全員正答とする。</p>																										
商圈半径	0m-500m	500m-1km	1-2km	2-3km																																																							
商圈人口	2万人	8万人	12万人	20万人																																																							
会員参加率 (対商圈人口)	5.00%	0.50%	0.20%	0.10%																																																							
商圈半径	0m以上～ 1km未満	1km以上～ 2km未満	2km以上～ 3km未満	3km以上～ 4km未満																																																							
商圈人口 (居住人口)	2万人	8万人	12万人	20万人																																																							
会員参加率 (対商圈人口)	5.00%	0.50%	0.20%	0.10%																																																							
2級実技	<p>以下の表は、あるフィットネスクラブにおける月末在籍者数、退会者数、入会者数の推移を示している。</p> <p>会員動向表</p> <table><tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th></tr><tr><th>当月末在籍数</th><td>1,950</td><td>1,980</td><td>2,000</td><td>(ア)</td><td>2,070</td><td>2,090</td></tr><tr><th>当月退会者数</th><td>75</td><td>85</td><td>90</td><td>70</td><td>80</td><td>85</td></tr><tr><th>当月入会者数</th><td>110</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr></table> <p>この表をもとに、以下を計算し、数値を解答欄に入力しなさい。</p> <p>6月末の在籍者数は 2,000 人であった。この情報をもとに、7月末の在籍者数 (ア) を求めなさい。
 ※在籍者数の計算式：前月末在籍者数 + 当月入会者数 - 当月退会者数</p> <p>この表における4月～9月の6か月間の平均退会率(イ) (%) を求めなさい。 ※退会率は、分子を当月末退会者数、分母を当月末会員数として算出すること。</p>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	当月末在籍数	1,950	1,980	2,000	(ア)	2,070	2,090	当月退会者数	75	85	90	70	80	85	当月入会者数	110	90	90	90	90	90	<p>(誤りの内容)</p> <p>問題文では、 表をもとに、以下を計算し、数値を解答欄に入力しなさい。と示されている会員動向表の数字が誤っている。</p> <p>※在籍者数の計算式：前月末在籍者数 + 当月入会者数 - 当月退会者数と計算が一致していない。</p> <p>(修正後)</p> <p>会員動向表</p> <table><tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th></tr><tr><th>当月末在籍数</th><td>1,950</td><td>1,980</td><td>2,000</td><td>(ア)</td><td>2,085</td><td>2,090</td></tr><tr><th>当月退会者数</th><td>75</td><td>85</td><td>80</td><td>70</td><td>70</td><td>85</td></tr><tr><th>当月入会者数</th><td>110</td><td>115</td><td>100</td><td>90</td><td>95</td><td>90</td></tr></table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	当月末在籍数	1,950	1,980	2,000	(ア)	2,085	2,090	当月退会者数	75	85	80	70	70	85	当月入会者数	110	115	100	90	95	90	<p>問題不成立として、出題された受検者全員正答とする。</p>
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																					
当月末在籍数	1,950	1,980	2,000	(ア)	2,070	2,090																																																					
当月退会者数	75	85	90	70	80	85																																																					
当月入会者数	110	90	90	90	90	90																																																					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																					
当月末在籍数	1,950	1,980	2,000	(ア)	2,085	2,090																																																					
当月退会者数	75	85	80	70	70	85																																																					
当月入会者数	110	115	100	90	95	90																																																					
2級実技	<p>人員配置に関する記述である。但し、以下の記述に関するものはすべて労働基準法で定められたとおりとする。</p> <p>(a)本日、急遽アルバイトスタッフAから「体調不良で休みたい」との連絡があった。人員の欠員部分を補完するため、1時～13時勤務のアルバイトスタッフBに、2時間延長を依頼した場合、休憩時間は最低(ア)分である。</p> <p>(b)アルバイトスタッフCは、シフト調整により3時間延長して、この日7時間勤務した。この延長分の労働に対しては、普段の時給の(イ) %にあたる金額が支払われる。</p> <p>(c)所定労働時間が7時間である当社は、勤務時間が所定労働時間を(ウ)分超過した場合、割増賃金の対象になる。</p>	<p>(誤りの内容)</p> <p>問題文では、(a) 1時から13時勤務のアルバイトスタッフBとなっている。</p> <p>(修正後)</p> <p>(a) 10～13時勤務のアルバイトスタッフB</p>	<p>(a) を不成立として、出題された受検者全員正答とする。</p>																																																								